

会 議 録 (概要)

会議の名称	佐渡市公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画（案）に関する意見交換会
開催日時	令和2年1月22日（水） 19時～20時
場所	羽茂農村環境改善センター
会議内容	1 開会 2 あいさつ 3 意見交換会 1) 資料説明 2) 補足説明 3) 意見交換 4 閉会
会議の公開・非公開 （非公開とした場合は、その理由）	公開
出席者	≪市民≫ 13名 ≪市役所≫ 9名 市長 三浦 基裕 副市長 伊藤 光 企画課長 猪股雄司 企画課課長補佐 中川裕二 企画課行革推進係長 椎 俊介 企画課行革推進係主事 菊池勇司 企画課政策推進係長 安藤 辰也 企画課政策推進係主任 松本 亜沙美 企画課政策推進係主事 澤山 千明
会議資料	別紙のとおり
傍聴人の数	1名（新潟日報社）
備考	

会議の概要（発言の要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
中川課長補佐 三浦市長 猪股課長	<p>（開会）</p> <p>（挨拶）</p> <p>（配布資料1～4に基づき説明）</p> <p>（配布資料5～7に基づき説明）</p> <p>（捕捉説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、個別施設計画（案）についてはパブリックコメントを実施中である。計画内容については、市が抱える 800 近い施設の個別対応策や対策費用を明らかにするものである。 ・しかし、個々の施設の個別対応策については行政のみでは決定できないため、利用者等との対話の中で検討を進めたい。計画としては今回策定するが、具体的対応策が決定しているものはごくわずかである。それ以外の施設については、まさにこれから市民の皆様と 2 次評価について決定する段階にある。 ・個別施設計画（案）の第 5 編には市の考え方を記載しているが、これは決定事項ではない。「将来ビジョン」「第 3 次集中改革プラン」等において既に方針が決定している施設もあるが、それらも含めて市民との対話の中で進めたい。 ・今後の財政見通しについては厳しいものがある。施設の整理は難しい問題だが早急に取り組む必要がある。本日は個別施設の内容については議論しないが、今後の進め方についてご意見をいただきたいと考えており、まずは、平成 30 年度に実施したアンケート結果を抜粋して紹介する。 <p>（配布資料の7に基づき説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私どもとしては、総合管理計画においても「佐渡市全体の観点から適切な管理を推進していく」としており、本日はこの観点においても皆様よりご意見をいただきたい。
A 氏	<p>（意見交換）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分からないことばかりだが、2～3 聞きたい。 ・個別施設計画は難しい話だが、いつ頃までに策定したいのか。 ・総合管理計画がなかなか周知されていないようだが、今後ある程度の期間の中で見直すのか。 ・市民との対話は今回のように地区別で、2 次評価を具体的に考える段階で話し合いをしていくと受け止めたが、よいか。
猪股課長	<ul style="list-style-type: none"> ・個別施設計画の策定期間について、1 次評価までは終了している。2 次評価まで終了している施設は 24 施設である。今年度に一旦計画として策定し、2 次評価が未実施の施設については、今後市民との対話の中で決定したものを順次計画書に掲載し更新する形としたい。来年 1 年間で決められるようなものではなく、今後の展望がなかなか見えない。まずは計画の進め方から決めたい。 ・今想定している中では、例えば佐渡市をいくつかのエリアに分けて、各エリア

	<p>内の施設について市民の皆様にご検討していただく作業もあるかと思う。まずはエリアをいくつに分けるのかという部分について、皆様がどのように考えるのかについてのご意見をいただきたい。一般的に「南部」というと、羽茂地区、小木地区、赤泊地区を考えがちだが、距離的には赤泊地区と松ヶ崎地区の方が近い。そのような議論が出てくるはずである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12の施設類型ごとに、「このエリアではどの施設を残し、どの施設を統廃合するのか？」といった検討が必要になるかと思う。その大前提として、「佐渡を1つのエリアで考えるのか、4~5のエリアで考えるのか」という議論が必要かと思う。距離感等も含め、一方的に行政の側でエリア分けすることは出来ないで、近隣の旧市町村単位も含めてどのようなエリア分けができるのかというご意見があれば参考になる。 ・総合管理計画は5年毎に更新するので、令和3年度改定である。 ・最後の質問にお答えする。今ほど企画課長から説明したとおり、大きな意見についてはこういった意見交換会の場でいただき、それを踏まえて佐渡をいくつにエリア分けするかについて議論させていただき、改めて各々のエリアの皆様へ、エリア内の施設について他のエリアとの施設の老朽化や機能の重複等も比較しながら、「身近に感じる施設」からエリアごとに話し合わなければならない。 ・例えば、現状の小中学校はほぼ存続すること前提とした流れであるが、各々を長寿命化、大規模改修化すると、各々の設置年度が近いこともあり、10年間で毎年約10億円を要することとなる。そのような状況のもと、エリア内で皆様へ身近に感じる公園、学校、公民館等、施設類型ごとに検討していくことは非常に難しい問題ではあるが、今後、随時地域の方に説明していかなければならない。
<p>三浦市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民1人あたりの人口あたりの面積はどのようになっているのか。 ・市民1人あたりの棟延床面積は8.5㎡である。この水準を維持したい。人口が減少しているため、減少にしたがって市民1人あたりの面積が増えることとなるので、人口に合わせて施設を減少することとなる。
<p>B氏 猪股課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民1人あたり8.5㎡を維持するのか。 ・そのとおりである。 ・人口が減少すると1人あたりの面積が増えるので、人口に合わせて棟延床面積を減らすという考え方である。
<p>B氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・佐渡市が発足した当初は「議員も多い」「施設も多い」として1市に合併したはずである。今更旧市町村単位で分けて考えることは元の木阿弥である。佐渡市全体として考えていただきたい。 ・合併の際に「佐渡市の公共施設は名古屋市と同規模だ」という説明であった。経費節減のための合併であるのに怠慢すぎるのではないか。総合管理計画についても、周知しなかったというより、市民への相談が足りなかったのである。 ・市町村が合併したのである。不便ではあるが、重要なことは次世代への継続である。市民すべての意見を聞いていたら皆が生きているうちに施設の整備など

<p>三浦市長</p>	<p>できない。思い切って「こうだ」と決めていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果にもあるように、統廃合については 7～8 割程度は理解を得ている状況である。ただ、地元の施設のこととなるとどうしても「廃止されては困る」という繰り返しである。 ・合併以来、小中学校の統廃合においても、一旦は統合が決定しながら結果として単独で存続している状態が続いているところがある。学校は通学距離等旧市町村単位に委ねる考え方はあるが、公園等は旧市町村単位で考えていたら整備は進まない。佐渡市内を少なくとも、車の距離圏域等で線引きし、施設が配置されている箇所を中心にいくつかエリア分けする必要があると思う。今回は 5 箇所意見交換会を実施するが、行政からの素案としては、旧市町村単位にこだわらないエリア分けを提案したい。総論賛成各論反対とならないよう、しっかりとした案を作りたい。
<p>C 氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今ほどのご意見はもっともである。せっかく統廃合したのだからおっしゃることはよく分かる。しかし、佐渡市は広い。利便性や高齢化を考えると、現実として施設の利用が困難な状況を作っては、いくら経済的に有利であっても実態に即さない。エリアについては 10 である必要はないが、利用者の立場を考慮したエリア分けを考えていただきたいし、施設を減少すれば一極集中しがちなので、特に過疎地域は利便性が悪くなることを考慮願いたい。
<p>三浦市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年、市スポーツ協会が実施したアンケート結果の話聞いたが、世代に関わらず、「小さな場所で良いので基本的な健康維持の運動ができる環境が欲しい」という意見が多数であった。大型施設がない地区であれば、近隣の施設を借りれば基礎的な運動等を出来る環境を用意することができるので、そういう施設をたくさん用意することも 1 つの方法である。広い佐渡市にあって、数多く存在する小さな集落等の方が体力維持できるような発想が必要である。
<p>中川課長補佐</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、個別施設計画（案）についてはパブリックコメントを実施中である。本日の意見交換会においては、様々な行政用語等が飛び交っており、本日の説明を耳にただけでは意見もしづらいかと思う。当施設や羽茂支所にも計画（案）の現物を置いているので、是非手に取って内容をご覧いただきたい。市ホームページからも閲覧が可能である。 ・パブリックコメントは 2 月 10 日まで実施している。
<p>D 氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果について、施設の利用頻度に関する設問において「利用頻度は高くない」との分析は一面的である。例えば、病院は頻繁に通うものではないし、図書館については、南部地区であれば病院の帰りに立ち寄る程度であるが、近くにあれば毎日通うかも知れない。アンケート結果については、色々と考えないとこのような分析とはならない。 ・日常的に通いやすいか否かについては、例えば、東京であればバスは 5 分に 1 本は走っており、大きな図書館もあり、タクシーもある。佐渡は一部を除いては大変な交通社会である。利用したくても利用できない人もいるし、利用できなければそこに住まない人もいる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・先ほどのB氏の考え方には大賛成である。しかし、今までの発想では駄目である。今までの発想を忘れる必要がある。ただし佐渡市は日本有数の大きさを誇る離島である。それを考えれば、例えば、赤泊地区と鷺崎地区では発想や考えも違う。慎重さは必要だが大胆さが必要である。 ・これからの2次評価について、正直なところ市民は地元以外の施設のことは知らない。皆さんがそうであると思う。情報をしっかりと提供してから話を進めないとなかなか批判が出る。 ・予算規模が縮小し人員も減少する。さらには、国の予算も減少する中で「選択と集中」は必要である。それ以外の施設については、ある程度の猶予期間後に廃止することはやむを得ない。そこは慎重に、検証結果等を広報等でしっかりと周知しながら進めていただきたい。
三浦市長	<ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメント中の個別施設計画（案）には資料編としてアンケート結果も掲載しているが、ご指摘の設問には、それぞれの利用頻度ごとの設問も設定しており、その結果も踏まえてどのような施設の利用頻度が高いか低いかにについても抽出している。これをもとに各々の地区の方と意見交換したい。 ・佐渡市は広く、市民の皆様も地元以外の施設については、小中学校が配置されているところには一定のイメージあるかもしれないが、公園については知らない方が多い。類型別に施設等の位置についても可視化しながら、きめ細かく2次評価を実施したい。
猪股課長	<ul style="list-style-type: none"> ・個別施設計画には、どのような施設があるのかについて12の類型ごとに集計している。先ほどのエリア分けの話に通じるが、類型ごとに類似の施設が複数ある。例えば、1つのエリアに公園が10あった時、5つに減らすことを考えた際に、地図も利用し、各々の規模も含めて検討したい。公民館施設も然りである。そのうえで、施設を取捨選択する際には一定の利便性の確保についても考慮したい。
D氏	<ul style="list-style-type: none"> ・関連でもう1点質問する ・公園や公民館については近隣で重複する施設は不要とのことだが、こういった施設の管理について、実際にはお金の負担が発生するので長期間は無理としても、一定期間は地域に委ねることも可能かと思う。 ・実際に50m程度の間に公民館が2つも設置されている箇所もある。大きな方を残せばよいと思うが、集会等を開催しても数人しか集まらないこともあるし、高齢化により参加しない人も増加している。いずれ廃止するとしても一定期間は市民に払い下げるといような考え方は、用途の転用も含めて都会でも導入されている。「何でも解体する」ということではない。慎重かつ大胆とはそういうことである。解体するについてもお金は発生する訳である。そこは地域との相談になるが、佐渡市には色々な廃屋等があり、世界遺産を目指すには残念な側面もある。 ・総合管理計画について周知が不足しているとのことであるが、本日の意見交換会に参加した方は理解できたと思うが、他の市民の皆さんは知らない。市報に

<p>猪股課長</p>	<p>掲載しても字が小さいために読まないと思う。8割が理解していないという状況は好ましくないのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「廃止」についても様々な考え方がある。今のご質問の関連であるが、学校が廃校となった際には一定期間は地域に貸し出して活用いただいている。一定期間経過後も地域が光熱水費等を負担いただけるようであれば活用していただきたいが、現実には難しい。規模にもよるが、集会施設等であればその方法は可能かも知れない。地域の方と相談しながら、転用も含めて考えたい。廃止即解体ではなく、地域の方と相談しながら進めることが大事と考える。 ・逆にご意見をお聞かせいただきたいが、例えば、羽茂地区を中心にエリア設定を考えた場合、その決定方法については、今回のようなワークショップ形式がよいのか、それとも各地域から委員を選出して議論する形がよいのか。ワークショップ形式より代表者形式の方がスピード感はあるが、代表者の選出方法等が悩ましい。そういった検討グループの作り方や検討方法等についてもご意見等あれば、今後の参考としたい。
<p>中川課長補佐</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本日問いかけてすぐにこの場でご意見をいただけるものではないと理解しているが、市としてはこういった部分でも四苦八苦している。
<p>B氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ場、公園等多数あるが、先日真野公園の石碑や句碑を見ようと訪ねたところ、管理不行き届きで見えなくなっている。管理できないなら譲渡してはどうか。観光客を案内していたので恥ずかしい思いをした。杉池や経塚山、赤泊のキャンプ場も然りである。閉鎖した方がよい。 ・D氏のご意見のとおり、施設を新たに作るのではなく、例えば、中央図書館は本を置くスペースもない。そうであれば、閉校した学校の活用も考えられるのではないか。何とか閉鎖された学校を活用したいと考えているがどこへ相談に行けばよいのかもわからない。
<p>猪股課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相談については企画課が窓口となる。
<p>B氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今話を進めている。相談する。
<p>中川課長補佐</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他にご意見等あるか。本日配布した資料の中で理解できない部分や分からない部分があればおっしゃっていただきたい。意見交換会については本日が皮切りである。資料についても、今後の意見交換会において出来るだけ分かり易いものとする。
<p>伊藤副市長</p>	<p>(挨拶・閉会)</p>